

市議会議員選挙が行われます。名前を連呼し、握手をすることも、各人が平等に1票を持っている現在の民主主義では大事な事だと思いますが、本来は何をしたいかをきちんと説明し、実行できる方を選ぶべきだと思います。私は4月に現職18人に政策に関するアンケートを送りましたが、返信して頂いたのは、八木秀雄議員、山田重喜議員、山川知一郎議員、向山信博議員の4名の方のみでした(回答到着順)。各議員の意見が分からなくては、本来、有権者は誰に投票していいか分からないはずです。詳細は、加納病院待合室にファイルでまとめてありますし、来院者に要約パンフレットも配らせて頂いています(診察しなくてもOKです)。投票の判断材料の1つにして頂ければ本懐です。付き合いや雰囲気や、知人から勧められたから投票するというのではなく、候補者のうち誰が意見をきちんと表明し実行しようとしているかを見極め、かつ自分の意見に近い候補者に、有権者各人が自らの頭で判断して投票しましょう。それが本来の選挙だと思います。他人に左右されない自ら考えた有権者の1票で、坂井市との合併、あわら市の人口減少問題、新幹線への対応、教育問題、農業問題に対して、より合理的で公平な判断ができる議会を構成できればいいなと思います。主として一部の人のみが関与するあわら市から、より合理的で公平だと思われる判断をするあわら市になれば、市民にとって、より住みやすい魅力的な市になると思います。皆さん、自分の頭で考えて自律的な投票をしましょう。